



特殊詐欺の発生状況

三重県下の特殊詐欺の発生件数は、9月末で81件、被害額は約2億9,920万円となっています。

発生件数は、前年同時期と比較して69件の減少となっており、金融機関等における水際対策を始めとした各種対策の効果が現れているものと思われます。

熊野警察署管内では、本年7月に、未納料金請求メールで騙された被害者が、コンビニのプリペイドカード35万円分を購入して支払ってしまった「架空請求詐欺」の被害が1件発生しています。

犯罪の発生状況

熊野警察署の刑法犯認知件数は、9月末現在で47件で、前年同時期と比較して5件減少しています。

罪種別では、窃盗犯が全体の約7割に当たる33件発生しており、前年同時期と比較して5件の増加となるなど、依然として大きなウエイトを占めています。

一方で、詐欺や横領といった知能犯は2件で、前年同時期と比較して5件の減少となっています。

	H30 1~9月中	H29 1~9月中	前年対比
総発生件数	47	52	-5
凶悪犯	1	1	0
窃盗犯	33	28	5
粗暴犯	3	4	-1
知能犯	2	7	-5
その他	8	12	-4

少年非行が減少

非行少年等の総数は29人で、前年同時期より26人(47%)減少しています。

不良行為少年の行為別状況は、「喫煙」や「深夜はいかい」で補導される少年が昨年に比べて減少しています。

	H30 1~9月中	H29 1~9月中	前年対比
総員数	29	55	-26
刑法犯少年	3	2	1
特別法犯少年	0	1	-1
不良行為少年	26	52	-26

国道42号における事故が増加！

9月末現在、人身事故件数は16件発生しており、路線別では、国道42号が7件と約4割を占め、事故類型別では、車両相互が12件と約8割を占めています。昼夜別では、昼間が15件と約9割を占めています。

	H30 1~9月中	H29 1~9月中	前年対比
総発生件数	305	312	-7
物件事故件数	289	293	-4
人身事故件数	16	19	-3
死者数	1	0	1
負傷者数	16	25	-9

秋から年末にかけて交通事故死者が増加！

三重県内の交通死亡事故の特徴として、高齢歩行者の事故が目立ちます。加齢に伴う身体や行動の変化を理解していただくとともに、買い物等は明るい内に済ませ、薄暮時間帯、夜間の不要な外出は避けましょう。

暗くなってから外出するときは、目立つ色の服装で反射材用品を着用しましょう。

また、道路を横断する際は、横断歩道を利用し、周囲の安全確認を確実に行いましょう。

ドライバーの皆さんは、早めのライトオンで自車の存在をアピールするとともに、歩行者・自転車の早期発見に努めましょう。

横断歩道等の手前では、スピードダウン！渡ろうとする歩行者がいれば手前で一時停止を！横断歩道では歩行者優先です！

テロ対策熊野パートナーシップ定例会を開催

10月10日、熊野市文化交流センターにおいて「テロ対策熊野パートナーシップ」の定例会を開催しました。

これは、日本が海外のテロ組織からテロのターゲットとされていることなどに、官と民が一体となって対策を講じていく取組みで、多くの構成機関の参加を得て開催することができました。

皆様におかれましても、日常生活にテロ対策をプラスしていただき、平常時と違う出来事などがあればご連絡いただきますようお願いいたします。